

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床治療論 リハビリテーション		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	8 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	前期	教室名	新館2F,3F
担 当 教 員	井上 貴美子	実務経験とその関連資格	2009年より日本リハビリテーション医学会専門医として刀根山病院で勤務。患者の診察、リハビリテーション処方、療法士への指導を行っている。			
《授業科目における学習内容》						
リハビリテーション医学の大まかな概念と医療における役割を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】終講試験100%						
【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
Nursing Care Q & A 入院中のリハビリテーション(総合医学社)						
《授業外における学習方法》						
授業内容の復習						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの意味、目的、職種、評価法について理解する		教科書、スライド 呈示	教科書の該当する章を 読んでおくこと	
	各コマにおける授業予定	1章 リハビリテーションの目的、2章一般的なアセスメント、3章 ADL				
第2回	授業を通じての到達目標	嚥下と栄養の重要性を学ぶ。脳血管障害の病態とリハビリテーションについて理解する。		教科書、スライド	教科書の該当する章を 読んでおくこと	
	各コマにおける授業予定	4章 嚥下障害と栄養、5章 脳血管障害				
第3回	授業を通じての到達目標	神経筋疾患、運動器疾患、について学ぶ。		教科書、スライド	教科書の該当する章を 読んでおくこと	
	各コマにおける授業予定	6章 神経筋疾患、7章 運動器疾患、				
第4回	授業を通じての到達目標	内部障害、廃用症候群について学ぶ。		教科書、スライド	課題提出	
	各コマにおける授業予定	8章 内部障害、9章 廃用症候群、課題に関する質疑など				
第5回	授業を通じての到達目標					
	各コマにおける授業予定					